

第3期山梨県医療費適正化計画 PDCA管理様式

1. 目標に関する評価

(1) 住民の健康の保持の推進に関する目標

① 特定健康診査の実施率に関する数値目標

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
55.6%	56.9%					70.0%
目標達成に 必要な数値	58.0%	60.4%	62.8%	65.2%	67.6%	
2018年度の 取組・課題	<p>【取組】 地域・職域保健連携推進会議の開催により、2次医療圏域、各医療保険者等からの取り組み報告の共有により、実施率向上に向け具体的な取り組みを検討。保険者協議会(国保援護課)での検討。</p>					
	<p>【課題】 保険者・市町村格差、未受診者(被扶養者)への働きかけ</p>					
次年度以降の 改善について	未受診者対策の推進、地域・職域保健連携会議の開催、保険者協議会(国保援護課)での共有					

② 特定保健指導の実施率に関する数値目標

2017 年度 (計画の足下値)	第 3 期計画期間					
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度 (目標値)
22.4%	22.9%					45.0%
目標達成に 必要な数値	26.2%	30.0%	33.8%	37.6%	41.4%	
2018 年度の 取組・課題	<p>【取組】 地域・職域保健連携推進会議の開催により、2次医療圏域、各医療保険者等からの取り組み報告の共有により、実施率向上に向け具体的な取り組みを検討。(国保援護課による)市町村等従事者のスキルアップ研修会開催。</p> <hr/> <p>【課題】 実施率は向上しつつあるが、目標達成に至らない。</p>					
次年度以降の 改善について	地域・職域保健連携推進会議の開催による課題の共有、取り組み強化の検討（従事者スキルアップ強化等）					

③ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率に関する数値目標

2017 年度 (計画の足下値)	第 3 期計画期間					
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度 (目標値)
10.8%	9.1%					25.0%
目標達成に 必要な数値	13.2%	15.6%	18.0%	20.4%	22.8%	
2018 年度の 取組・課題	<p>【取組】 地域・職域保健連携推進会議の開催により、2次医療圏域、各医療保険者等からの取り組み報告の共有により、実施率向上に向け具体的な取り組みを検討。市町村等従事者のスキルアップ、実務研修会開催。(国保援護課)</p> <hr/> <p>【課題】 目標達成に至らない。市町村等医療保険者、健診従事者のスキルアップ</p>					
次年度以降の 改善について	地域・職域保健連携推進会議の開催による課題の共有、取り組み強化の検討、実務研修会の開催(国保援護課)					

④ たばこ対策に関する目標

目標	成人の喫煙率の減少
2018年度の 取組・課題	<p>【取組】 世界禁煙デー、山梨県禁煙週間等による普及啓発。 健康増進法一部改正に伴う受動喫煙防止に向けた研修会の開催</p> <hr/> <p>【課題】 制度改正内容の周知（受動喫煙防止対策の強化）</p>
次年度以降の 改善について	改正受動喫煙防止対策の周知、担当会議等の開催

⑤ 予防接種に関する目標

目標	麻しん及び風しんの定期的予防接種実施率の向上（実施率 95%以上の維持）
2018年度の 取組・課題	<p>【取組】 市町村への啓発普及、台帳管理の徹底、厚労省主催の研修会参加の促し</p> <hr/> <p>【課題】 1 期に比べ、2 期の接種率の低さがある</p>
次年度以降の 改善について	市町村担当者会議、従事者研修会の開催により担当者の意識向上に務める

⑥ 生活習慣病等の重症化予防の推進に関する目標

目標	糖尿病性腎症に対する人工透析実施件数の減少
2018年度の 取組・課題	<p>【取組】プログラム作成ワーキングチームを設置し、県版「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を作成した。協議会やCKD医療従事者スキルアップ研修会等で運用の周知を行った。透析医療機関調査の実施。糖尿病専門医・腎臓専門医会議の開催等による取組推進の周知</p> <p>-----</p> <p>【課題】 かかりつけ医と専門医との紹介基準の周知・運用の推進</p>
次年度以降の 改善について	プログラムの周知、連携基準の推進（地区医師会と連携した研修会の開催等）、専門医会議の開催等

⑦ その他予防・健康づくりの推進に関する目標

目標	各がん検診受診率（60%以上）及び精密検査受診率（90%以上）
2018年度の 取組・課題	<p>【取組】 市町村担当者会議・研修会の開催。受診率向上研修、啓発普及キャンペーンの開催。</p> <p>-----</p> <p>【課題】 基準に沿った運用・実施の周知、市町村支援</p>
次年度以降の 改善について	市町村担当者会議・研修会の開催。受診率向上研修及び県民向け啓発普及キャンペーン等の開催

(2) 医療の効率的な提供の推進に関する目標

① 後発医薬品の使用促進に関する数値目標

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
59.6%	64.0%					80.0%
目標達成に必要な数値	63.0%	66.4%	69.8%	73.2%	76.6%	
2018年度の 取組・課題	<p>【取組】 2017年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」において、2020年9月までに後発医薬品の使用割合を80%以上とする目標が定められたことを踏まえ、第3期から後発医薬品の使用割合について定量的な数値目標を設定している。</p> <p>2020年9月の目標達成及び計画の目標達成のため、①医師及び薬剤師の意見交換会・研修会の開催、②医療関係者及び県民への意識調査の実施、③啓発資材の作成配布、④テレビCM、新聞広告及びSNSによる普及啓発などの取組を行った。</p>					
	<p>【課題】 引き続き上記のような取組を推進していく。</p>					
次年度以降の 改善について	意識調査の結果等を踏まえ、医療関係者への研修及び県民への普及啓発などの取組を強化していく。					

② 医薬品の適正使用の推進に関する目標

目標	かかりつけ薬剤師・薬局の定着
2018年度の 取組・課題	<p>【取組】</p> <p>平成 27 年 10 月に策定された「患者のための薬局ビジョン」では、2025 年までに全ての薬局をかかりつけ薬局への再編を目指していることから、この目標の達成に向け、県薬剤師会と連携し、薬剤師への研修会の開催及び県民へのかかりつけ薬剤師・薬局の普及啓発などの取組を行った。</p> <hr/> <p>【課題】</p> <p>引き続き上記のような取組を推進していく。</p>
次年度以降の 改善について	<p>県薬剤師会と連携し、取組を強化していく。</p>